

昭和肥料ニュース

FAX版

Vol. 068



水稻農家様の2025年は？

4月に入り水稻農家様では育苗が始まりました。本年は生産者様にとって大変作り甲斐のある年です。何故なら、米どころでもある新潟県、秋田県のJAが概算金（秋田県は概算金目安）を発表し、昨年比で3割前後UP等、米が引き続き高値で推移する見込だからです。当該地域の方は儲かる米作りを行うチャンスです。未発表地域においても生産意欲が高まる米価が期待できます！！

高品質、安定収量を目指しましょう

儲かる米作りに、「高品質、安定収量」の確保は欠かせません。昨年残念ながら低品質、収量不足となった要因を整理すると、

- ①登熟不良、籾はあるが中身がない等の「収量不足」
- ②高温障害、作業遅れにより、白未熟粒の発生等の「品質低下」
- ③病虫害発生による「品質低下」、「収量不足」が挙げられます。

これらの対策として、ある篤農家様は、

「根が深く張れる土作りを行い、茎が太く下葉がしっかりした、強い稲体を育てている」とおっしゃられていました。

強い稲体を育てることで、

- ①予期しない高温に強く胴割れ・乳白を抑え歩留まりが良い。
- ②登熟がシッカリし、量が取れる。
- ③粒張りが良くデンプンがシッカリたまった美味しいお米になる。

等の効果があるとの事です。

ここに大きなヒントがあるかもしれませんので、是非参考にして下さい。

強い稲体を作るためにオススメしたい土作り資材

基肥には

高温障害に備える土づくり資材
粒状ひかりゴールドF
期待できる効果

- ①強い茎葉を育てる
- ②根張りを強化し、ガス湧きを防止する
- ③窒素代謝を支える



含有成分(%)	ケイ酸 20~25	鉄 15~20
	アルカリ 25~35	苦土 3~5
	マンガン 0.5~1	
微量元素	(ほう素、銅、亜鉛、モリブデン)	

追肥には

苦土とケイ酸を主成分とした
ジャストマグ
期待できる効果

- ①即効性苦土とケイ酸分の補給
- ②葉緑素の元で光合成を旺盛にする
- ③リン酸吸収率が高まる



保証成分(%)	水溶性苦土 15
含有成分(%)	ケイ酸 18 鉄 3 石灰 0.8
	硫黄 13 マンガン 0.1
微量元素	(ほう素、銅、亜鉛、モリブデン)